

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.

「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：住友大阪セメント株式会社 様

開催場所：須崎市神田

「住友大阪セメント
～須崎 未来を拓く森」

開催日：令和5年2月22日（水）

参加者数：37名

（住友大阪セメント株式会社様、
須崎市、須崎地区森林組合、
須崎林業事務所、高知県）



令和3年2月20日（土）に、住友大阪セメント株式会社、須崎市、高知県による交流活動が行われました。

開会式では、住友大阪セメント株式会社高知工場長 青木秀起氏、須崎市長 楠瀬耕作氏から、ご挨拶いただきました。

<開会式の様子>



住友大阪セメント(株)
高知工場長 青木秀起氏



須崎市長
楠瀬耕作氏



住友大阪セメント(株)の
社員の皆さま



須崎地区森林組合の皆さま

開会式後、各班に分かれ間伐体験の開始です。木を倒す方向を決め、森林組合職員の方々のご指導のもと、協力して間伐を行います。



細木森林組合長の説明



＜間伐体験の様子＞



①



②



③



⑥



⑤



④

①受け口をつくるのは難しいこととノコギリに慣れるため、1本目は森林組合職員の方がチェーンソーを使って受け口をつくった。
 ②1人目が追い口を伐る。→③2人目が続きを伐る。
 →④3人目が挑戦。→⑤4人目にバトンタッチ。 ⑥伐倒。



1本目



2本目



3本目



間伐体験の後は、集材や造材作業の見学です。間伐作業で伐採した間伐材は、グラップルという機械で集材され、ハーベスタという機械で枝と間伐材を分ける造材が行われ、均等な長さに切り分けられます。農作物で例えると、出荷作業に該当する工程というのでしょうか。間伐したただけの木では、木材として即使用できるものではないということですね。



集材機械：グラップル



ハーベスタ：枝払い・玉伐り中



森光双子大敷組合長にご挨拶いただき、昨年度は開催できなかった海の幸満載の昼食会も堪能できました。最後は細木森林組合長の挨拶で閉会となりました。参加された皆様、お疲れ様でした。また来年、お目に掛かるのを楽しみにしております！

人が森を助ける。
 森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.